

ゴジラ

純愛と熱血の物語

作／大橋泰彦 演出／桐原博

キャスト／ゴジラ・宮津康彦 やよ

い・浜辺志奈子 父・久保田国夫

母・松浦幸子 姉・高橋光香

妹・橋本康代 祖母・藤本

恵美子 ハヤタ・大石健二

レポーター・沢野和子 プ

レゼンター・(声) 広石

幸弘 モスラ・広石一人

ピグモン・野村美月

円谷英二・森喜行

スタッフ／舞台監督・内

野辰美 効果・宮崎保 衣装・梶

文子 音楽・広石一人 大道具・

武蔵野アート 小道具・武蔵野ア

ート 制作・広石康子

あらすじ／現代のある日ある時。ここは大島元町。三原山火山が、激しい活動を繰り返しています。元町港で、避難島民最後の人々が乗船を始めているなか、レポーターが放送を開始しました。

「はい、こちら大島元町です。三原山から突如現われたゴジラは、ゆっくりとこちらに接近しつつあります。しかし、ゴジラは何故か、まるで誰かに導かれるように、民家や施設を巧みに避け、その歩を進めているので、今のところ大きな被害はでていないようですが大島一の港町、元町に足を踏み入れたが最後、大きな被害は避けられません。」
——それはゴジラに恋をした少女、やよいが、自分の家へとゴジラを案内していたのでした。

そして、家族の前で結婚の申し込みをするゴジラ。

大パニックが起こってしまう、やよいの周りの人々——父、母、姉、妹、やよいのいいなずけのハヤタ、そして、祖母。

ゴジラ「ぼくはゴジラかも知れない。だけど、それと……やよいさんを愛しているということは違うと思うんです。だから、僕は……
…僕はあきらめませんよ。ガオー！」

やよい「私がこの人を愛することで、私自身の精いっぱい愛をぶつけることが出来るのです。だってそうでしょ、人間の男より何百倍も、何千倍も愛する気持ちがいなければ、

怪獣ゴジラを愛することなんて出来ませんものね。」

——人間のいきまりの愛や平和を、一度揺さぶって、ぶちこわして、原

点から見つめなおしてみようというお芝居です。第25回公演になりますが、若い劇団員を中心としたエネルギーが爆発できればと願っています。

映画会 ピッピの新しい冒険

[スエーデン]

11月8日〈土〉

pm 1:00~2:30

小ホール

11月8日(土) 27時45分開演

